

JRIS

鉄道車両一妻引戸装置設計標準

JRIS R 1003 : 2021

(JARI)

令和3年3月25日 改正

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(日本鉄道車輛工業会 発行)

日本鉄道車輛工業会 規格審査会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	手塚和彦	株式会社テス
(委員)	岸谷克己	国土交通省鉄道局
	宮本昌幸	明星大学名誉教授
	近藤圭一郎	早稲田大学理工学術院
	古関隆章	東京大学大学院
	佐々木君章	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	菊地隆寛	東日本旅客鉄道株式会社
	遠藤康信	東京地下鉄株式会社
	土井賢一	株式会社総合車両製作所
	和嶋武典	株式会社日立製作所
	四方田圭一	日本製鉄株式会社
(鉄車工委員)	佐伯洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(顧問)	溝口正仁	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	井田博敏	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表

	氏名	所属	
(委員長)	岩滝雅人	株式会社日立製作所	
(委員)	塚原克之	川崎重工業株式会社	(2020年10月まで)
	吉川直樹	川崎重工業株式会社	(2020年11月から)
	長澤章二	日本車輛製造株式会社	
	菅野直哉	近畿車輛株式会社	
	島宗亮平	株式会社総合車両製作所	
	新澤基彦	新潟トランス株式会社	
	土井裕	三菱重工エンジニアリング株式会社	
	北林英朗	株式会社日立製作所	
	鶴田慎一郎	東芝インフラシステムズ株式会社	
	若林良明	三菱電機株式会社	
	梅澤幸太郎	富士電機株式会社	
	佐々木敏夫	東洋電機製造株式会社	
	四方田圭一	日本製鉄株式会社	
	黒光将	ナブテスコ株式会社	
	平本正幸	日本信号株式会社	
	田中幹男	株式会社京三製作所	
(鉄車工委員)	佐伯洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会	
(事務局)	井田博敏	一般社団法人日本鉄道車輛工業会	
	桑名寿	一般社団法人日本鉄道車輛工業会	

制定：一般社団法人日本鉄道車輛工業会 会長 制定：平成 19.12.12 改正：令和 3.3.25

掲示：鉄道車両工業；工業会のホームページ；URL；<https://www.tetsushako.or.jp>

発行者：一般社団法人 日本鉄道車輛工業会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTF-TEL；03-3257-1901 NTF-FAX；03-3257-3200)

審査：日本鉄道車輛工業会規格審査会

作成委員会：当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会にお願いします。

なお、この規格は、通常5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 機能	3
5 開閉機構	3
6 構成	3
7 妻引戸装置の設計で考慮すべき事項	4
8 妻引戸装置の設計基本事項	5
8.1 妻引戸の構造と特徴	5
8.2 妻引戸の部品及び妻引戸の関連部品	5
8.3 戸閉め装置の種類と特徴	10
8.4 妻引戸装置の安全対策，火災対策及び防水対策	13
8.5 妻引戸の剛性基準	16
8.6 妻引戸の製作検査基準	16
8.7 妻引戸設計のチェックシート例	16
8.8 妻引戸の設計図面事例	16
附属書 A（参考）妻引戸設計のチェックシート例	17
附属書 B（参考）妻引戸の設計図面事例	19
参考文献	31
解 説	33

まえがき

この規格は、JRIS 整備車体部会において改正すべきとの申出があり、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に基づき、鉄車工規格審査会の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。これによって、JRIS R 1003:2013 は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JRIS “R シリーズ” 制定の背景

鉄車工規格（JRIS）は、国際規格との整合化の方針に沿って 1995 年以降に性能基準化された JIS とともに、鉄道車両業界で必要とされる事項を規格として定めることとして、2003 年から制定・登録を行っている。

JRIS “R シリーズ” は、車両部品の標準化を図るとともに汎用性をもつ市販部品の車両部品への活用などを可能にする活動の一環として、従来から製品仕様、設計標準などを規格化してきた旧鉄車工標準（RIS）を今後も利用できるようにするため、2003 年から鉄車工規格として制定・登録するとともに、その後の技術の進化に対応するため整備を継続しているものである。また、RIS からの継承のもののほか、多くの鉄道事業者及び製造業者が標準的に採用している技術分野についても製品仕様、設計標準などを JRIS “R シリーズ” として規格化している。

なお、RIS から移行した“R シリーズ”の規格番号は、前身となる RIS の 3 桁の番号の前に零（0）を加えた 4 桁の番号とすることとしており、これによって規格の名称と番号との関係についての継続性を保っている。

JRIS は、制定の背景や関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成されている。この規格の“R シリーズ”のほかに、“D”、“E”、“J”及び“W”シリーズがある。

鉄道車両—妻引戸装置設計標準

Rolling stock—Design guideline for arrangement of end sliding door

1 適用範囲

この規格は、旅客車両に用いる妻引戸装置を設計するときに適用する設計標準について規定する。ただし、出入台と客室との間の仕切引戸、乗務員だけが扱う妻部の防火引戸などは除く。また、この規格で扱う妻引戸装置は、手動方式及び半自動方式（箇条5参照）の2種類だけとし、電気・空気などの動力を用いて自動で開閉する妻引戸装置には適用しない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS E 4001 鉄道車両—用語

JRIS R 0121 鉄道車両—押出形ゴム

JRIS R 0127 鉄道車両—ガラス押え金の標準

JRIS R 0135 鉄道車両—引戸錠

JRIS R 1002:2005 鉄道車両—側引戸設計標準

規格概要につき以下は省略する。